

7月17日から呉～広島間の交通アクセスが改善
呉～広島間の通勤・通学対策について
 災害時BRT(※)として全国初の試み

広島県は、平成30年7月豪雨災害の影響により通勤通学に多大な困難が発生している呉～広島間の輸送手段の充実を、JR西日本、バス協会、旅客船協会など県内関係機関に要請しました。

この結果、NEXCO西日本、広島県警察本部をはじめ関係機関の御尽力及び中国運輸局の調整により7月17日(火)から呉～広島間のバス便が大幅に増強されることになりました。また今回、通勤向けバスとしては初めての取組となる災害時BRTを採用し、バスの定時性を確保する試みも併せて実施します。

そのほかにもフェリー便の運航など、交通アクセスの改善に向けて様々な取組を進めています。

○呉～広島間の交通機関の利用方法など

(1) JR定期券・回数券を御利用の方

(バス)

○運行ルート JR呉駅⇔JR広島駅

※JR呉駅・広島駅間をノンストップで運行

○乗降場所 (JR呉駅)

(JR広島駅) 新幹線口

(フェリー)

○運行ルート 呉港⇒広島港

○乗船場所 呉中央棧橋(1号棧橋)

○下船場所 広島港(県営棧橋)

○便数 呉発6:35、広島港着7:50の1便
(新幹線)

○呉⇔広島間の普通定期をお持ちの方は、
新幹線JR東広島⇔JR広島駅が利用可能

(2) JR定期券・回数券の利用者以外の方

○運行ルート JR呉駅⇔広島バスセンター

○乗車場所 (呉方面行) 広島BC6番ホーム
(広島方面行) JR呉駅前5番ホーム

○降車場所 (呉方面行) JR呉駅前
(広島方面行) 市役所前、広島BC他

○便数 呉方面広島方面とも一日16便

○料金 通常のクリアラインと同様

○運行経路



※災害時BRTとは

災害時BRTとは、災害により一般車両が通行止めとなった高速道路・自動車専用道路を路線バス等指定されたバスを通行可能とし、混雑した他の道路の通行を回避することにより速達性や定時制を確保する方法



東日本大震災後の気仙沼線・大船渡線BRTの運行の様子（JR東日本WEBサイトから）